

## 日本学術会議第84回(臨時)総会

### 改革第1次案をめぐる白熱の討議

日本学術会議は、1982(昭和57)年2月19日、第84回(臨時)総会を開催した。学術会議改革委員会から提出された「日本学術会議の組織・運営の改革・改善について」(第1次案)をめぐる、終日、白熱した討議が展開され、同案に対する厳しい批判や有意義な提言がなされた。また、改革との関連で国際学術交流代表派遣基準(案)および地域学術交流の原則(申し合せ、案)についても審議が行われた。

「学術会議の改革は自主的に行われねばならず、各方面からも期待されている」との、伏見会長の冒頭挨拶の後、改革案に基づいて審議が進められた。改革案は、昨81年4月の第82回総会で設置をみた学術会議改革委員会(委員長・岡倉副会長)によって策定されたものであるが、その背景には、中山前総理府総務長官からの本会議の改革を迫る強い要望や、本会議の速やかな自主的改革を求める報道機関の論調、そして会員の危機感等があった。その改革案(A5版31頁——「日本学術会議月報」2月号に全文掲載——)は、大きく3部から成り、第1部の総論は、改革を必要とする問題状況、改革の基本姿勢と前提、改革の基本的方向と改革・改善案を策定すべき事項、科学・技術行政機構全体の抜本的改革構想の模索等について言及している。第2部の各論では、科学者と学術会議との結びつきの強化策をはじめ、選挙制度及び内部組織の再編や、他の学術関係機関との関係改善について具体策が提示されている。最後の第3部は、改革・改善案の策定の段取りやその実現の方途を明らかにしている。

この改革案をめぐる、発言者は延べ50人に及んだ。総論・各論をとおして、その多数が基本的に賛意を表しながらも、他方では部分的批判や積極的提言を行い、さらに改革問題に関する政府・自民党の態度に危機感を表明した。

総論に関するおもな意見を挙げると——(1)改革の基本的要素にアクセントをつけて、学術会議の任務が何であるかを科学者や国民に明示すべきである。政府の国益中心の一面的科学技術政策を、巨視的・全面的立場から是正してゆくことこそ、学術会議の使命だ。(2)学術会議は学問の基礎的研究を軽視したことに対する自己批判を怠っており、科学者から遊離している最大の理由も実は、学術会議が批判的精神を失い、また学問の最先端で役に立っていないむきもある。(3)学術会議の政府からの「独立性」について、改革案の姿勢が弱い。単にその

法的根拠を挙げるのみならず、学術会議創立の原点に立ち帰って、独立性の基本的論理を明確にすべきである。

(4)自民党・政府の学術会議に対する姿勢はきわめて厳しいものがあり、適確な情勢判断をもち、科学者の総力と国民の支持を得て対処する必要がある。外部の学識経験者をはじめ政府や政党等の関係者からも積極的な意見聴取を行うべきだ。

各論の「科学者との結びつきの強化」について——(1)各常置・特別委員会等で検討している緊要な問題や総会での審議内容を、学協会誌等に掲載して一般科学者に周知させる必要がある。(2)研究連絡委員会(研連)委員長を会員と同等に取扱い。総会に参加させてはどうか。研連委員は、男女バランスのとれたものにして欲しい。(3)有権者に大胆に依拠し、自発的拠金を求めたり、関係資料の有料配布を考えたらどうか。

さらに、同じ各論のなかの「選挙制度及び内部組織の再編」について——(1)投票用紙の受取人不明による返送率を気にしたり、立候補者用葉書の使用を禁止しようとする姿勢は、官僚主義的、事大主義的で賛成しかねる。(2)地方区選挙制度の廃止には反対。有権者との結びつきという点で地方区制度は重要であり、しかもその地方区から選挙で選ばれたという実績は無視できないものがある。(3)地方区選挙で無競争の場合でも、信任投票の意味で投票を行うべきだ。(4)地方区運営費が少なすぎる。

こうした意見に対し、岡倉委員長や渡辺洋三幹事などから種々回答や説明があったが、総会として改革案の賛否を決するまでには至らず、以上の審議状況と第1次案に関する全会員の意見書の提出、学協会等からの意見聴取等をふまえて第2次案を策定し、次の総会で審議を進めることになった。学術会議をとりまく厳しい状況を反映してか、終始、会場には格別の緊張感がみなぎっていた。出席率も、88.1%であった。

なお、国際学術交流代表派遣基準(案)は、本会議の代表派遣が他の省庁のそれと性格上異なる点を明確にすることを骨子としたものであり、また、地域学術交流の原則(案)は、アジアなど特定地域の国際学術交流が5原則(平和への貢献、汎世界的等)に基づいて行われるべきことを主眼としたものである。いずれも、全体的に肯定的評価を受けたので、さらに学協会にも諮り、成案を得た後、次の総会に提案される予定である。

(日本学術会議 広報委員会)